

平成23年度

南観音小学校シラバス (第5学年)



シラバスについて

シラバス(Syllabus)は、「(講義などの)要項, 要旨, 教授細目, 教案」(新クラウン英和辞典)という意味です。シラバスの語源は, ギリシャ語の sittuba(羊皮紙でできた書籍ラベルまたは表紙題)といわれています。

南観音小学校が作成しましたシラバスは, 各学年の学習計画において, 児童がどのような学習をいつごろ, どのように学び, どこまで理解すればいいのか, 評価基準はどのようなになっているのか, などを保護者の皆様へお知らせするものです。

このシラバスをご覧になって, 保護者の皆様が本校の教育活動に対してご理解とご支援をいただきますとともに, 学校と家庭が連携して教育効果を上げることにより, 児童のより確かな学力が定着することを願っています。

国語科（5年）

★ 目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てます。

★ 第5学年の到達目標

- ① 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- ② 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てます。
- ③ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

★ 評価について

国語科では、次の5つの観点で評価します。

- ① 国語への関心・意欲・態度
「国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。」
→授業での様子、学習ノート、読書の様子等
- ② 話す・聞く能力
「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。」
→授業での様子、聞き取りテスト等
- ③ 書く能力
「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いている。」
→作文、単元テスト等
- ④ 読む能力
「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。」
→授業での様子、音読、単元テスト等
- ⑤ 言語についての知識・理解・技能
「伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字に書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。」
→単元テスト、漢字小テスト等

★ 学習の予定(全175時間内書写32時間)

月	学習すること
4	だいじょうぶだいじょうぶ 本に親しもう メモを使って題材を探そう 文の組み立てに気をつけよう 毛筆・硬筆の姿勢、持ち方
5	動物の体と気候 ゲストティーチャーをすいせんしよう 漢字の由来に関心を持とう 点画のつながり
6	世界でいちばんやかましい音 意見とその理由を聞き取ろう 熟語の構成を知ろう 筆順と字形
7	新聞記事を読み比べよう 立場を明確にして書こう 古文を声に出して読んでみよう 生活にひろげよう
9	水のころろ 山のあなた 俳句 パネル討論をしよう 資料を読んで考えたことを書こう 字配り、文字の大きさ
10	注文の多い料理店 ふしぎな世界へ出かけよう 字配り・配列・用紙と文字の大きさ
11	意味をそえる言葉に目を向けよう 森林のおくりもの 気持ちを伝える言葉について考えよう 生活に広げよう(横書き)
12	敬語を適切に使おう 大造じいさんとがん 生活に広げよう(書き初め)
1	古文に親しもう 伝えよう、委員会活動 まとめ
2	わたしの「とっておきの一枚」 テレビとの付き合い方 生活に広げよう
3	手塚治虫 パンフレットを作ろう いろいろな書き方

社会科（5年）

★ 目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養います。

★ 第5学年の到達目標

- ① 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにします。
- ② 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにします。
- ③ 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにします。

★ 学習の予定(全100時間)

月	学習すること
4	1 わたしたちの国土
	1 世界の中の国土
5	2 国土の地形の特色と人々の暮らし
6	3 国土の気候の特色と人々の暮らし
7	2 わたしたちの生活と食料生産
	1 米づくりのさかんな庄内平野
9	2 水産業のさかんな静岡県
	3 これからの食料生産とわたしたち
10	3 わたしたちの生活と工業生産
	1 自動車をつくる工業
11	2 工業生産と工業地域
12	3 工業生産と貿易
	4 情報化した社会とわたしたちの生活
	1 情報産業とわたしたちの暮らし
1	2 社会を変える情報
	3 情報を生かすわたしたち
2	5 わたしたちの生活と環境
	1 わたしたちの生活と森林
3	2 環境を守るわたしたち
	3 自然災害を防ぐ

★ 評価について

社会科では、次の4つの観点で評価します。

① 社会的事象への関心・意欲・態度

「我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べ、国土の環境の保全と自然災害の防止の重要性、産業の発展や社会の情報化の進展に関心を深めるとともに、国土に対する愛情をもとうとする。」

→授業での様子、ノート、提出物等

② 社会的な思考・判断・表現

「我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象から学習問題を見いだして追究し、社会的事象の意味について思考・判断したことを適切に表現している。」

→単元テスト、ノート、提出物等

③ 観察・資料活用の技能

「我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。」

→単元テスト、ノート、提出物等

④ 社会的事象についての知識・理解

「我が国の国土と産業の様子、国土の環境や産業と国民生活との関連を理解している。」

→単元テスト、ノート、提出物等

算数科（5年）

☆ 目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てます。

☆ 第5学年の到達目標

- ① 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- ② 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにします。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにします。
- ③ 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにします。
- ④ 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにします。

☆ 学習の予定(全175時間)

月	学習すること
4	整数と小数 直方体や立方体の体積
5	小数のかけ算
6	小数のわり算
7	合同な図形
9	偶数と奇数、倍数と約数 単位量あたりの大きさ
10	分数と小数
11	図形の角 分数のたし算とひき算
12	四角形と三角形の面積
1	百分率とグラフ
2	正多角形と円周の長さ 分数のかけ算とわり算
3	角柱と円柱 5年のふくしゅう

☆ 評価について

算数科では、次の4つの観点で評価します。

① 算数への関心・意欲・態度

「数理的な事象に関心をもつとともに、数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする。」

→授業での様子、提出物、発表、ワークシート等

② 数学的な考え方

「数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。」

→単元テスト、ノート、授業での様子等

③ 数量や図形についての技能

「小数や分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形の性質を調べたり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けている。」

→単元テスト、提出物、授業での様子等

④ 数量や図形についての知識・理解

「数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の性質、分数の意味、小数や分数の計算の意味、面積の公式、体積の単位と測定の意味、図形の意味や性質及び数量の関係などについて理解している。」

→単元テスト、提出物、授業での様子

理科（5年）

★ 目標

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養います。

★ 第5学年の到達目標

- ① 物の溶け方、振り子の運動、電磁石の変化や働きをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養います。
- ② 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長、流水の様子、天気の変化を条件、時間、水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性についての見方や考え方を養います。

★ 学習の予定(全105時間)

月	学習すること
4	○ 春が来て 1 発芽と成長 1 発芽
5	2 発芽と養分 3 植物の成長
6	2 メダカの誕生 1 メダカのたまご 2 メダカの食べ物
7	3 ふりこ □ ふりこ ○ 台風接近
9	4 花から実へ 1 花のつくり 2 実のでき方
10	5 天気の変化 1 空の様子と天気 2 天気の変化のきまり
11	6 流れる水のはたらき 1 地面を流れる水 2 実際の川 3 川の上流と下流 4 川の水量が増えるとき
12	7 電流が生み出す力 1 電磁石の性質 2 電磁石の強さ 3 電磁石を利用したものを作ろう
1	8 人の誕生 □ 人の誕生
2	○ 受けつがれる生命 9 もののとけ方 1 ものが水にとける量
3	2 とけているものの取り出し方 3 水よう液の重さ

★ 評価について

理科では、次の4つの観点で評価します。

- ① 自然事象への関心・意欲・態度
「自然の事物・現象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。」
→授業での様子等
- ② 科学的な思考・表現
「自然の事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的变化について考察し表現して、問題を解決している。」
→単元テスト、授業での様子、ノート等
- ③ 観察・実験の技能
「問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に記録している。」
→授業での様子、ノート（実験・観察のまとめ）等
- ④ 自然事象についての知識・理解
「物の溶け方、振り子の運動の規則性、電流の働きや、生命の連続性、流水の働き、気象事象の規則性などについて実感を伴って理解している。」
→単元テスト、授業での様子等

音楽科（5年）

☆ 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養います。

☆ 第5学年の到達目標

- ① 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- ② 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
- ③ 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにします。

☆ 評価について

音楽科では、次の4つの観点で評価します。

- ① 音楽への関心・意欲・態度
「創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組みようとする。」
→学習態度、課題への取り組み等
- ② 音楽表現の創意工夫
「音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。」
→演奏聴取、演奏観察等
- ③ 音楽表現の技能
「音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。」
→演奏聴取等
- ④ 鑑賞の能力
「音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。」
→鑑賞態度の観察、学習プリント等

☆ 学習の予定(全50時間)

月	学習すること
4	にっぽんのうた みんなのうた 心から心へ こいのぼり 校友歌
5	音の重なりとひびき 茶色のこびん こきょうの人々
6	歌をとどけよう 花のおくりもの アンサンブルのみりよく いろいろな合唱
7	ハローシャイニングブルー「カレリア」から「行進曲風に」 こげよマイケル 星笛
9	オーケストラと合唱のひびきを楽しもう 歌げき「イーゴリ公」から「ダットン人のおどりと合唱 風のつばさ 言葉と音楽 星とたんぼぼ 赤とんぼ 山田耕筰の歌曲
10	音のスケッチ 言葉のイメージから音楽をつくろう 音楽の旅 子もり歌 谷茶前
11	世界の音楽 日本の民ようマップ 日本の民ようと子もり歌 はやしことばメドレー
12	豊かな表現を求めて 風とケーナのロマンス 冬げしき
1	ゴジラ にっぽんのうた みんなのうた スキーの歌
2	音楽のききどころ ピアノ五重そう曲「ます」第4楽章 君が代
3	心を合わせて ルパン三世のテーマ 君をのせて

図画工作科（5年）

☆ 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養います。

☆ 第5学年の到達目標

- ① 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- ② 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにします。
- ③ 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにします。

☆ 学習の予定(全50時間)

月	学習すること
4	心を通わせて 形や色を楽しもう
5	感じたことを伝えたい
6	板を切りぬいて
7	タワーをたてよう
9	楽しく美しく伝えよう
10	アレッ?コレ、ナニ?
11	アニメーションをつくろう
12	想ぞうのつばさを広げて
1	不思議な絵 使って楽しい焼き物を
2	刷り重ねて表そう
3	アート・レポーターになって

☆ 評価について

図画工作科では、次の4つの観点で評価します。

- ① 造形への関心・意欲・態度
「自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。」
→授業での様子等
- ② 発想や構想の能力
「感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりしている。」
→作品、授業での様子等
- ③ 創造的な技能
「感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫している。」
→作品、自己評価カード等
- ④ 鑑賞の能力
「親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。」
→授業での様子、鑑賞カード等

家庭科（5年）

★ 目標
 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情を育み家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

★ 第5学年の到達目標

- ① 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにします。
- ② 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにします。
- ③ 自分と家族などの関わりを考えて実践する喜びを味わい、家族生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

★ 学習の予定(全60時間)	
月	学習すること
4	さあ、家庭科を学びましょう 見つめてみよう わたしと家庭の生活
5	はじめてみよう クッキング ・クッキングはじめの一步 ・ゆでてみよう
6	はじめてみよう ソーイング ・針と糸にチャレンジ ・楽しい小物作り
7	かたづけよう 身の回り ・整理・整とんをくふうしよう できるようになったかな 家庭の仕事 ・わたしにできる家庭の仕事を増やそう
9	わくわくミシン ・ミシンぬいにチャレンジ ・計画を立てて作ってみよう
10	わくわくミシン ・計画を立てて作ってみよう
11	元気な毎日と食べ物 ・どんな食品を食べているのだろう ・五大栄養素の働きと食品グループ
12	・バランスのよい食事をしよう
1	じょうずに使おう 物やお金 ・物やお金の使い方を見直そう ・買い物のしかたを考えよう
2	寒い季節を快適に ・あたたかい着方をくふうしよう
3	家族とほっとタイム ・楽しいだんらん

★ 評価について
 家庭科では、次の4つの観点で評価します。

- ① 家庭生活への関心・意欲・態度
 「自分の成長と衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。」
 →提出物、授業での様子等
- ② 生活を創意工夫する能力
 「衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりしている。」
 →授業での様子、提出物等
- ③ 生活の技能
 「生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。」
 →実習などの様子、提出物等
- ④ 家庭生活についての知識・理解
 「家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。」
 →授業での様子、提出物、学習プリント等

体育科（5年）

☆ 教科の目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てます。

☆ 第5学年の到達目標

- ① 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高めます。
- ② 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てます。
- ③ 心の健康やけがの防止について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てます。

☆ 学習の予定（全90時間内保健8時間）

月	学習すること
4	体ほぐしの運動 短距離走・リレー
5	運動会 学年・全体練習
6	新体力テスト マット運動
7	水泳
9	水泳 けがの防止 表現運動
10	走り幅跳び 跳び箱運動
11	体力を高める運動
12	心の健康 体ほぐしの運動
1	ハンドボール サッカー
2	
3	

☆ 評価について

体育科では、運動領域および保健領域があります。それぞれ次の3つの観点で評価します。

【運動領域】

- ① 運動への関心・意欲・態度
「運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、進んで運動に取り組むとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意しようとする。」
→授業での様子、学習カード等
- ② 運動についての思考・判断
「自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫している。」
→授業での様子、学習カード等
- ③ 運動の技能
「運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。」
→記録、学習カード、授業の様子等

【保健領域】

- ① 健康・安全への関心・意欲・態度
「心の健康やけがの防止について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。」
→授業での様子等
- ② 健康・安全についての思考・判断
「心の健康やけがの防止について関心をもち、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表している。」
→授業での様子、学習プリント等
- ③ 健康・安全についての知識・理解
「心の健康やけがの防止について関心をもち、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。」
→授業での様子、学習プリント等

英語科（5年）

☆ 教科の目標

英語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養います。

☆ 評価について

評価の観点は、「英語の学習を通じたことばへの関心・意欲・態度」の1点とします。
英語科は、中学校との5年間を見据えたものであり、「知識・理解」や「活用」については中学校で扱うことから、小学校段階では導入期として、「関心・意欲・態度」について評価します。つまり、発音が上手とか会話ができるといった技能や言語習得の程度を評価するのではなく、英語の学習への意欲やことばの関心が育まれていく様子について、児童の学習に取り組む姿を通して評価します。

☆ 学習予定（全70時間）

月	学習すること
4	英語の世界へようこそ
5	英語の世界へようこそ クイズをしよう（1）
6	クイズをしよう身の回りのこと
7	身の回りのこと好きなもの
9	好きなもの いくつか伝えよう
10	いくつか伝えよう
11	ほしいもの
12	説明しよう
1	クイズをしよう（2）
2	私の夢
3	私の夢

言語・数理運用科（5年）

☆ 目標

日常生活に見られる様々な事象について、テキストから目的に応じて必要な情報を取り出し、各教科等で身に付けた知識や経験と関係付けて思考・判断し、自らの考えを適切に表現する力を育成します。

☆ 第5学年の到達目標

- ① 各教科の学習を基に、思考力・判断力・表現力を向上させます。
- ② 各教科で身に付けた知識・技能を実生活に活用できる能力にまで高めます。
- ③ 学習したことが日常生活で生きて働くことを実感させ、学習に有用感を持たせるようにします。

☆ 学習の予定（全35時間）

月	学習すること
4	標識の秘密を探ろう
5	アストラムラインで楽しもう
6	
7	ザ・広島ブランド
9	インターネットで検索したら
10	お好み焼きの材料を買いに行こう
11	
12	未来の給食を考えよう
1	広島の路面電車
2	
3	

☆ 評価について

言語・数理運用科では、次の3つの観点で評価します。

① 情報を取り出す力

「言語や数学的な表現などを用いて表現された様々なテキストを読んだり、数理的に処理したりして理解し、目的に応じて必要な情報を取り出すことができる。」

→ワークシート、授業での様子等

② 思考・判断する力

「取り出した情報を各教科で身に付けた知識や経験と関係付けながら、筋道を立てて考え、判断することができる。」

→ワークシート、授業での様子等

③ 表現する力

「自らの考えや意見をまとめ、言語や数学的な表現などを用いて、目的や相手に応じて、理由を示し、筋道立てて表現することができる。」

→ワークシート、授業での様子等

総合的な学習の時間（5年）

☆ 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにします。

☆ 第5学年の到達目標

- ① 自ら課題をもち、課題解決するための調べ方が身につくようにします。
- ② 集めた情報の中から必要な情報を選んで、相手にわかりやすく伝える力を育てるようにします。
- ③ 友達の課題に対して興味・関心をもって見たり、聞いたり、考えたりすることができるようにします。
- ④ 人とのかかわりあいを通して、自分らしさやお互いのすばらしさに目を向け、認め合い尊重しあって共に生きる社会をつくろうとする意欲や態度を養うようにします。

☆ 学習の予定(全35時間)

月	学習すること
4	地域について考えよう
5	ミュージックタイム
6	ミュージックタイム 野外活動の計画を立てよう
7	ミュージックタイム 平和について考えよう「ピースアピール」
9	ミュージックタイム 平和について考えよう「ピースアピール」
10	ミュージックタイム 平和について考えよう「ピースアピール」
11	ミュージックタイム 平和について考えよう「ピースアピール」
12	ミュージックタイム 障害について考えよう
1	ミュージックタイム
2	ミュージックタイム
3	最高学年に向けて

道徳（5年）

★ 目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことが目標です。

★ 学習の予定(全 35 時間)

月	学習すること
4	マイルール 好きがいちばん 世界がみとめたハンド
5	ブランコ乗りとピエロ 英子ちゃんとぼく みんなの「いこいの広場」
6	流行おくれ 朝飯前のボランティア 千羽づる それっておかしくない？
7	未知の世界、深海 駄菓子屋の前の歩道
9	一ふみ十年 春の女神 わたしの祖母 しまった！
10	油断したぼく キャベツにかけた夢 運動会の弁当 移動教室の夜
11	なれなかつたりレーの選手 花がとお色のかべかざり 本当のあいさつ 友のしょうぞう画
12	あと三十分おくれたら 大地と人の心をうるおす通潤橋
1	海辺の町を走るバス おばあちゃんからもらった命 努力の人、野口英世
2	うばわれた自由 チャンピー～日本人が育てた盲動犬～ ユニバーサルデザイン ハンスの手紙～坂東ふりよ収容所より～
3	最後のコンサート～チェロ奏者徳永兼一郎～ 日本の美しさと俳句の心～松尾芭蕉に学ぶ～

